

政友会 今井 俊郎 議員



- ① 今後の高齢者に対する政策について
- ② 放課後児童クラブの今後について

質問① 今後増える高齢者世帯における、ゴミ出しの軽減は考えていないのか。また、個別収集実施についても検討していないのか。

答弁① 高齢化社会において高齢化対策は必要と思われる。その中の一つとして、日々発生するゴミについては集積場を各自治会の状況に応じ、自治会にて対応していただいている。しかしながら、今後益々進む高齢化社会において高齢者のゴミ出しは負担が増えると考えられ、自治会の要望等を聞きながら集積場の

設置場所を検討していく。また、個別収集については現在実施している他市の状況を参考に今後調査研究を行なっていきたい。

質問② 放課後児童クラブの登録者数が増加し、施設の充実並びに新しい施設の設置が必要と思われるが、どのように考えているか。

答弁② 今後登録者数70名を超える放課後児童クラブにおいては、国からの補助金がカットがされることから、地域の協力のもと新しい施設の設置を検討していきたい。また、一人当たりの面積が極端に過密な施設は、その環境を改善するよう努力していきたい。



すずか倶楽部 後藤 光雄 議員



- ① 安全・安心のまちづくり施策について
 - (1) 地震予知の告知方法について
 - (2) 災害復旧対策について

質問① (1) 今秋9月、気象庁から発信される緊急地震速報「〇〇秒後に震度〇の地震がきます」という情報を、どのように市民に周知していく計画か。

答弁① (1) 緊急地震速報による無用な混乱・パニック等、二次災害を招く等の課題が解消するまで検討していく。

質問① (2) 市内業者との協定のあり方について、災害被災時に業者の迅速な対応復旧工事が出来るように結んだ協定が、大震災の際にも機能するよう取り

組んで欲しい。一方、情報ネットワーク構築について、現状の被災情報収集手段では、迅速な救急活動や復旧対策の情報源としては不十分と考えるが、市民の携帯カメラからの情報収集手段の構築を考えられないか。

答弁① (2) 共助の考えに基づいて、事業者と地域住民が地域の防災コミュニティの構成員として連携して防災活動を行うことができる環境づくりに努めていく。また、市の初動体制を充実させるために、メルモニの機能充実や、普及している携帯メールの防災用活用など既存のシステムを有効活用できないか調査研究していく。



新政会 佐久間浩治 議員



- ① 三重県下一番の硬式球場設置の考え
- ② 少子化対策について
- ③ 住宅用火災警報機の設置状況は

質問① 20万人を超える都市として、硬式野球場がないところは全国的に見ても少なく、2万人を収容できる三重県下で一番の硬式野球場の建設を望むが、市の考えは。

答弁① 平成19年度策定の新スポーツ振興計画の中で、市民ニーズ、運動施設の充足度、財政状況等を見ながら計画的に進めたい。また、県や関係機関などと連携し、整備の可能性について調査・研究する。

質問② 子どもは国の宝、将来の社会の担い手であ

るが、鈴鹿市にとっても少子化は重大な問題であり、その対策としてどのような取り組みをしているか。

答弁② 現在できることについて全力をあげて取り組むことを信念とし、経済的支援、仕事と育児の両立支援、家庭育児支援を実施している。

質問③ 住宅用火災報知器の設置が義務付けされたが、設置状況はどうか。また、その種類や設置場所は。さらに、市はどのような広報活動をしていくか。

答弁③ 設置状況は現在把握できていないが、今後アンケート等で把握していく。種類には、煙感知式と熱感知式があり、設置場所は、寝室、寝室が2階なら階段上部、5室以上居室があればその階の廊下に設置する。広報活動としては、CNS、広報すずか、消防だより、各種講習会、イベント等で周知していく。